資料２

義務教育学校のメリット・デメリットについて

令和５年９月及び令和８年９月に酒田市教育委員会事務局職員が新庄市立明倫学園（施設一体型義務教育学校・令和３年４月開校）を視察した際の所感を整理した。

〇メリット

・５年生から生徒会活動を行う。８、９年生がモデルとなり、目標が高くなる。
・１年生から７年生が一緒に掃除をし、７年生が掃除を指導する。
・総合学習は９年間で内容の濃い学習が可能になる。
・４－３－２制により、９年間で３回リーダーとなる機会がある。４年生、７年生、９年生をリーダーにすることで成長の伸び、手ごたえを感じていた。
・９年生と日常生活等で接する姿が「絶対的なヒーロー・ヒロイン」であり、目標とする存在になる。１～４年生のゴールモデルが６年生だったものが、９年生になる。ただ優しいだけのお兄ちゃんお姉ちゃんではいけないという考え方で８年生、９年生が成長する。
・中一ギャップがない。中一ギャップは「授業ギャップ」ではないかと気づいたそうだ。

〇デメリット

・（特になし）

〇その他

・１～４年生は４５分授業、５～９年生は５０分授業。１、３、５時間目の授業開始時間はそろえている。
・入学式は９年生が１年生の手をつないで入場し、１日世話をする。
・５年生、６年生から中学校の教科担任が入る。
・小学校と中学校には文化の違いがあるといわれているが、「壁」ではなく「違い」。初めは仲が悪く、互いに譲れないこと、譲らないこともあったが、時間が経つにつれて変化していった。